

「新プロジェクト」 創設し活用へ

JEAS総会



稲本会長

日本万引防止システム協会（JEAS／東京都新宿区、稲本義範会長）は6月3日、千代田区内で通常総会を開いた。

稲本会長は昨年度の協会事業について、感染予防に活用するサーモカメラが国の税制優遇機器に加わり、使用方法を説明した冊子を発行したことや国内大手メーカーによる小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム制度」の創設、「認定個人情報保護団体」となったことなどを報告した。

新プロジェクトとして、顔認証システムを安全・的確に操作するスキルを伝える「科学保安講習プロジェクト」を創設。プロジェクト

トリーダターの青柳秀夫氏（日本保安）は「推奨顔認証システムを保安業務に活用して有効性を高め、生産性向上と個人情報の両立を目指す」「科学警備講習会」を開催します」と告知した。無人店舗などのDX（デジタルトランスフォーメーション）推進事例の調査を行う「DX推進プロジェクト」も創設された。

新役員は次の通り（敬称略）。【理事】本川勝広（マイティキューブ）、上野順子（NECソリューションイノベータ）、桑原春奈（GeoVision）、佐藤賢二（ユシヨウ・ウェイブ）